

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

入院中のアルコール依存症患者に対してのナルメフェンの効果				
1. 研究の対象および研究対象期間 2024年4月1日から2026年5月30日までの間に昭和医科大学烏山病院に入院中にナルメフェンを処方された患者さん				
2. 研究目的・方法 ナルメフェンは飲酒前に内服する事が用法に書かれているため入院中に内服することは想定されていません。しかし昨今は依存症治療において外出・外泊訓練の重要性が指摘されており、頻回の外出外泊訓練中には再飲酒する者も多く入院中にもナルメフェンの処方を選択肢とする病院が増えています。しかし入院中のナルメフェンの利用方法について一定の見解はありません。そのため本院での利用方法を調査して共有することで今後の依存症入院治療のあり方について考察します。				
3. 研究期間 昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年 3月31日まで				
4. 研究に用いる試料・情報の種類 年齢・性別・入院日数・ナルメフェンの内服量・内服のタイミング・併用薬・併存疾患・退院の仕方・退院後の受診を診療録から調べます。				
5. 外部への試料・情報の提供 該当いたしません。				
6. 研究組織				
研究責任者	研究機関名	昭和医科大学烏山病院	氏名	常岡俊昭
研究分担者	研究機関名	同上	氏名	葛井真守

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学烏山病院

氏名：常岡俊昭

住所：東京都世田谷区北烏山 6-11-11

電話番号： 0333005231